

ASAPカンボジア通信

Asia School Attendance Partnership

NPO 法人 アジアの子どもたちの就学を支援する会



完成したワットルン小学校校舎の前で

2016.10

- 第26回視察訪問のご報告
長谷川 理事長…P1
- ワットルン小学校ついに完成…P2
- 支援校の様子…P3～4
- Mother to Mother 活動報告…P5～6
- 高校進学を断念する理由…P7
- その他の活動報告…P7～10
- 平成28年度通常総会のご報告…P11

Vol.18

第26回視察訪問のご報告

理事長 長谷川 安年

さる8月1日より6日までの間、第26回のカンボジア支援ツアーを実施致しました。参加者は副理事長大沼、理事細谷、竹内をはじめ、啓明学園の生徒と引率教師計15名、クラウドファンディングでご支援頂いた2名の方、多摩川幼稚園職員等、総勢27名での訪問となりました。

今回の主な目的はかねてより校舎寄贈の要請があり完成したワットルン小学校の落成式参列でした。落成式にはシアン・ブレマン内務大臣をはじめ多くの関係者が集まり、盛大に行われました。私は祝辞の中で、勉強の大切さとともに、この校舎が日本のとても多くの人達によって建築にこぎつけたことを伝えさせて頂きました。

カンボジアの国の教育環境は改善が進んでおり、先生に対するお給料も10年前の30ドルから180ドルへと大幅に向上し、先生達が安心して教育に専念できる様になってきました。タットム、トロク小学校においては先生達の意識の向上が学校全体に見て取れる様にもなり、地道に支援を継続してきた成果がはっきり見え喜ばしい限りです。

小学校がなかった村に4年前に寄贈した多摩川コールタメイ小学校ですが、寄贈後進学先の中学校がないということから、トロピアンプレイ中学校を寄贈しました。この時から私は、地区、国の発展の為には、高等学校はどうしても必要であると感じておりました。高等学校を卒業すれば、個人の力で努力すれば世界に羽ばたけることもできるようになるからです。ひいてはこの地域から各種の人材が生まれ、地域の活力になることは明白の理であります。ここにきて、図らずも地区から強い要望を受けたことから、私は、高等学校の実現に努力すると伝え帰路に就いた次第です。

戦後の日本とカンボジアの悲惨な教育環境が重なり教育者として何かしなくては...という思いから始めた小さな支援が10年間継続でき成果を上げてこられたのは同じ思いで支えて頂いている多くの皆様のお蔭であります。

この半年間の活動報告をお届けしますので、ご一読頂き、引き続きご支援ご協力頂いたら幸いです。



落成式の様子

ワットルン小学校ついに完成！

「ワットルン小学校」の新校舎がついに完成し、8月4日、大勢の参列者の中落成式が行われました。テレビや新聞などが普及していないカンボジアの村では、このように大勢が集まる式典は、勉強の大切さ、交通ルールを守ること、衛生的な生活をする事等を国民に伝える大事な機会にもなっている為、大臣の話は1時間ほど続きました。

暑い中、私達にとっては忍耐の時間ですが、クラウドファンディングでの苦勞などが浮かび、胸にこみ上げる物がありました。学校の壁には記念プレートが掲示され、支援者からのメッセージカードも持参致しました。

学校で学ぶ生徒は 445 名。安全な新しい校舎で沢山勉強し、カンボジアの未来を開いていってもらい、そして日本人との間に末長く友好関係が結ばれたらと心から願います。

ワットルン小学校建て替えプロジェクトへのご協力ありがとうございました

◆公益法人ひろしま・祈りの石国際教育交流財団より助成を頂きました

途上国の恵まれない子ども達が等しく教育を受けられる環境を築くため、必要な資金支援を行っている公益法人です。2016年2月に150万円の助成を頂くことができました。

◆(株)ラッシュジャパン (イベント、社員様の募金活動でご協力を頂きました)

◆クラウドファンディングでのご協力者 101 名 (団体を含む)

お名前は Vol.17 に記載させていただきました。

◆ASAPの会員、賛助会員、支援者の皆様 (P15にお名前の記載をさせて頂きました)



記念プレートと教室に掲示したメッセージカード

支援校の様子

タットム、トロク小学校の様子

トロク小学校の校長先生は、楽譜は読めませんが音楽がとても好きです。ですから、前昭島ロータリークラブから寄贈されたピアノを一番活用しているのがトロク小学校です。授業で音楽の時間はないけれど、放課後興味のある子どもに教えているそうです。今回も訪問時に歓迎の音楽を弾いてくれました。校長先生はもっと教えてほしいというのですが、音楽の勉強は時間がかかります。

一方、タットム小学校は、運動に積極的になっています。ヌウ先生とサレイ先生が日本の小学校の様子を実際に見たことが大きく影響をしていると思います。

カンボジアの小学校で体育を取り入れるにあたり障害になることが2つあります。

ひとつは、先生達が皆体育の知識が全くなく、それを学ぶ機会もない事。二つ目は、広い校庭や運動器具が全くないことです。

**音楽も体育もそして絵画も、国全体でそういった知識を持った人が皆殺しにあっ
てしまい、人材がないという事が、その国の発展に後々どんなに大きな影響となって残るのかを痛感します。**



ピアノを使った演奏の様子

キロタチュム小学校

井戸を掘っても水が出ない地区に立つキロタチュム小学校は、ずっと水問題を抱えていました。昨年8月、学校の裏庭にワールドビジョンという大きな団体がおよそ60万円かけて50メートルプールのように大きな貯水池を作ってくれました。校長先生とこれで水問題が解決したねと喜んだことをお伝えしました。ところが…「水が汚すぎて使えず結局役に立たず放置されている」というのです！！水を綺麗にするための費用は出してもらえないので放置しかないというのです。何という事！！60万円の大工事が無駄になっている現状にはただ唾然とするしかありませんでした。

ASAPは小さい団体なので、効率が悪い事も多々ありますが、こんな無駄だけは絶対にしない、と胸に誓った出来事でした。



放置されている貯水池

多摩川コールトメイ小学校

多摩川コールトメイ小学校は、郡内の小学校 67 校の中の最も貧しい小学校 3 校の内の 1 校に該当し、19 家庭が年間 60 ドルの援助金を受けられるようになったそうです。国からの支援が始まった事は朗報です。ASAP が最も貧しい学校を支援できているとわかり私達にとっても嬉しいことでした。

この学校の校長先生もとても熱心に学校運営に取り組んでいます。



秋川ロータリークラブ寄贈の図書室には寄贈の本が整然と並んでいます。手前の袋の中は今回寄贈した本です。



校庭には甘いドラゴンフルーツが沢山！売って学校の運営費にするのも夢ではなくなりました！

やったー！ ASAPの影響で村が綺麗に！！

コールトメイ小学校で今回とても嬉しい話を聞きました。

「村がきれいになってきた」というのです。私達が学校を寄贈してから、訪問の度に「学校を綺麗に」「掃除して」「ゴミを拾いましょう」といわれ続けて先生達も子ども達に指導を続けた結果、家庭にゴミ箱を置くところが現れて、村の家々の周りに無造作に捨てられていたゴミが少なくなってきたというのです。

「こんな奥地の村においてゴミ箱が家庭に置かれて、ゴミを拾う事が広がるという事は、カンボジアではとても凄い事です」と通訳さんにいわれました。

このことは私達にとって本当に嬉しい報告でした。ゴミだらけの校庭を見て、「ゴミを10個拾って飴と交換」なんていう事も行ってきました。先生達にも、「学校で習った事を子ども達が家庭に持ち帰るので、先生が示す意義は大きい」と繰り返し伝えてきたその甲斐があったというものです。嬉しいですね！万歳！

Mother to Mother 活動報告

継続という『力』

昨年度の販売額は 257 万円になり、前年度より 4%増えました。日本国内の活動も少しずつ安定しはじめ、カンボジアでも新しい 2 名のお母さんが加わり、活動に携わるお母さんは総勢 23 名になりました。

新しいお母さんにインタビュー

ニン・プーンさん 46歳

子供4人（13・11・9・2歳）

活動に参加しようと思った理由は「Mother 活動が始まった時から知っていたけれど、まさかこんなに続くとは思っていなかったし、みんながしっかり稼いでいるので自分もやりたいと思った」から。ご主人の仕事は農家で、この村に生まれ、トロク小学校に通い5年生まで教育を受けた。

子どもの文具などを買いたいし、自分のように苦勞する生活を送ってほしくない



活動を始めてから 7 年という「継続」が力となり、立派な作業所もできたことが、村での活動への信頼に繋がっているという事を実感できました。現在は年間一人 150 ドル～360 ドルの仕事を提供できています。

この活動を支えてくれているのは沢山のボランティアの方々です。定期的に集まってアイロンや布の裁断を手伝ってくれている方々、裁断を手伝ってくださる多摩川幼稚園在園児のお母様方、大量の紐通しをご自宅で請け負ってくださる方、小学校、幼稚園や保育園でご父母にご紹介くださっている園長先生や校長先生、本当に有難うございます。私は皆さんに、あのカンボジアのお母さん達の姿を見て頂きたいです！活動を始めた当初に比べて、皆何と明るく綺麗になってきた事でしょう！

おどおどして自信無さげだったミシン担当のお母さんは、今堂々と振舞っています。子ども達に教育を受けさせられている喜びで溢れています！

評判いいよ！通学リュック！

通学カバンを持っていない為、スーパーのビニール袋で学校に来ている子どももいることから、数年前から支援校の新一年生には毎年 Mother to Mother での手作り通学リュックを配布しています。子ども達の背中にそのリュックが揺れているのを見るととても嬉しい気持ちになりますが、手縫いのこのかばんをお母さん達はどう思っているのかちょっと不安でした。そこで、今回お母さん達にその質問をぶつけてみました。すると思いがけない答えが返ってきました

とても丈夫

汚れても洗濯できる



色々柄で自分のが判る

破れてもなおせる

「高いカバンを買っても1年せずつに壊れてしまうのよ〜！」「だからこれはとても良い」と口々に伝えてくれるのをきいて、抱いていた不安も払拭され、今後の活動の大きな手掛かりとなりました。

日本では質の高い物でないと売れない為、仕事を求めてくる新米お母さんにすぐに日本向けの物を縫ってもらうわけには行きません。この通学リュックを縫ってもらうことで、技術の未熟な人でもすぐに収入を得る道を開くことができるのです！**新一年生には無料で配布し、その他の学年の子ども達に安く販売する方法をとり、リュック事業を広げていこうと思います。**

ところが…カンボジアでは子どもの柄物の布がほとんど売っていません！！そこで…

**皆様のご家庭で眠っている不要の布(木綿に限ります)が
ありましたらぜひご寄附頂けませんか？**

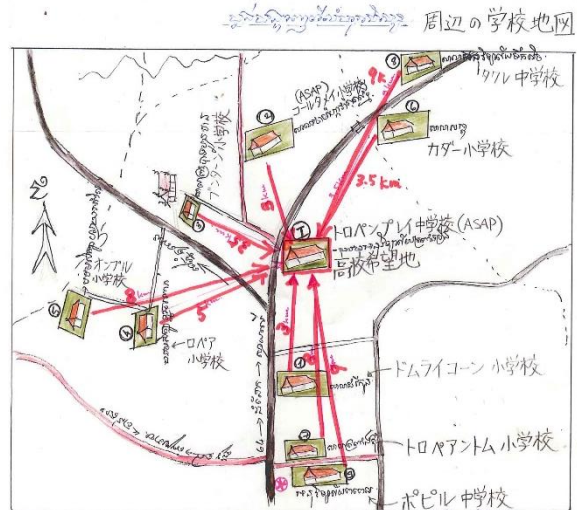
カンボジアの子どもたちの通学リュックに役立てたいと思います。

★恐れ入りますが、ASAP 事務局までの送料はご負担願います

中学卒業後80%が高校を断念する理由

冒頭の理事長挨拶でも触れておりますが、2年前に寄贈したトロピアンプレイ中学校には卒業後進学する高校がありません。遠方の為80%の生徒が高校進学を諦めています。高校を出て初めて自分の手で将来を開くことができます。学校で学んだその先に希望を見出せます。

高校寄贈を念頭に、次回訪問時は詳細な調査を行う予定です。



周辺の中学校3校小学校8校の生徒が対象の地域です

どうしてこんなに壊れるのか…

カンボジアの支援をしていると、なぜこんなに物が痛んで壊れるのか…と感ずることが多々あります。井戸、蛇口、鍵、棚、床、壁…。日本では考えられないほど早くに壊れてしまいます。「材料が…」「子ども達が…」と理由は様々ですが、修理費用が無いのであれば大事に使うし、子どもたちにもそう繰り返し指導するべきと思うのですが…。ASAPの支援先では訪問の度に点検し、修理の約束を交わしていますが（支給している教育支援金内で修理してもらいます）、訪問を継続しない場合の状態を考えると恐ろしくなります。



2年立たずに剥げたり欠けたりします



先生達が用意した下駄箱も2年でこの姿！

日本での研修成果がこんな所に…

タットムのヌウ校長先生が地区の校長のリーダーに！

タットム校の校長ヌウ先生の学歴では校長先生になれません。ところが、日々の学校運営力が認められ地区の校長達のトップの地位に着きました！「日本で見たことを実践して学校が良くなった事で、他の校長先生達が話を良く聞いてくれる」と笑顔で語る姿に、「**支援校が地区のモデルになり、そこから地区の学校に広がればいい！**」という私達の思いが形になり、**苦勞して日本に招待した成果**がこの様な良い形に繋がっていると本当に嬉しく思います。

ヌウ先生が取り入れた日本の良い所とは？

①日本式の掃除

カンボジアの学校は朝掃除をしますが、日本で見た「授業終了後の掃除」を取り入れた所、朝だと忙しくて掃除する時間がなく汚いまま授業をすることがあったが、終了時に掃除をすれば次の朝綺麗な状態で授業を始められるのでとても良いと、続けているそうです



②運動できる広い校庭

カンボジアの小学校には、運動ができる広いスペースがありません。学校の授業でも体育がないためその必要性を感じていないからと思われます。日本の子ども達が校庭でスポーツをする様子を見てきたヌウ先生、「日本の子供たちが色々な運動をするのを見て、この建物を移動すれば広い校庭になると思って…」と、学校の本造の建物をASAPの所有する土地に勝手に動かしてしまいました。「勝手にASAPの土地に移動！」と、問題になったのですが、そこでのびのびとドッジボールを楽しむ子どもの様子に（以前は狭くてボールが校舎に当たってしまっていました）今後は勝手に移動しないと約束してもらい、現状のままで行くことになりました。

日本語教室大盛況

サレイ先生は日本語教室を毎日開いています。生徒数は約50人。ノートにはひらがなが。日本への親密感がこの様なところから芽生え広がってもらえたら嬉しいですね。



日本語を勉強中！



広くなった校庭

啓明学園高校生が子ども達と交流

拜島にある「啓明学園」の高校生13名がワークキャンプの一環として参加し、毎年恒例のドッジボール大会、フォトフレーム作り、縄跳び等色々な活動で交流を楽しみました。



自動販売機 2 台増えました！

寄付金付き自動販売機を、**昭和の森テニ
スセンター・細谷理事自宅前**の2か所に新たに置いて頂く事になりました。医療法人山育会設置と合わせて4か所になりました。



ご協力心より感謝申し上げます
通学リュック制作費用に充てます

かしはら 奈良県Lush 橿原店で

去る5月7日、奈良県橿原市のイオンモール内にある(株)ラッシュジャパンのイベントに参加させて頂きました。橿原市までの交通費や宿泊費用を負担して下さいただばかりか、当日の「チャリティーポット」売上を全額寄付頂きました。当日は支援校の卒業生に贈る卒業アルバムの表紙に折り紙やシールで飾り付けをしてもらうイベントを開き、沢山のお客様に足を止めて頂くことができました。



職員室にネズミ出現！！

職員室にネズミが出現し、子ども達がニコニコ笑って手にすると...エイヤーと地面に投げつけて気を失わせ、それを先生が箒の柄でバコン！ととどめ！
たくましさにただただ驚くばかりでした。



生活の原点…？

村では料理の終わった鍋を洗った水や残飯は庭にあけます。それを離し飼いのニワトリや犬が食べに来てあっという間に綺麗にします。思えば日本ではいつの間にかペットフードが当たり前...



いつか教員の技術講習会を！

狭い校庭、潰れたボール、それがカンボジアの平均的な小学校の姿です。午前と午後で入れ替えの2部授業形式だと、勉強する教科も限られてしまう事もありますが、先生達自体が経験もないので体育などの授業ありません。

カンボジアの小学校には運動環境が全くないのが現状です。でも...**先生達はみんな学びたがっていま**
す知れたがっています！しかし、そういった機会（講習会等）は全くないそうです。

支援地区の学校の先生達を集めて体育や音楽の講習会を開いてあげたい...こんな夢がむくむくと広がってきています。只今情報収集中です。

これ何だと思いませんか？穴の開いたボールです。
これで遊んでいます



貧しい家庭を選ぶ基準

国や団体からの支援を貧しい家庭に分ける基準は何なのでしょう。畑や土地を持っているかどうかだといいます。現金収入に繋がる仕事が少ない村では、自分たちの食べるお米を自分で作れるかが、貧困の分かれ道で、大きな判断基準になるそうです。



平成28年度 通常総会のご報告

去る8月19日に多摩川幼稚園にて平成28年度の通常総会が開催され、平成27年度事業報告、収支決算、平成28年度事業計画、収支予算が承認されましたので概要をご報告させていただきます

1. 27年度事業の成果 (平成27年7月1日～28年6月30日の報告になりますので**28年7月以降の内容は含まれていません。**)

(1) 教育機関運営支援

- ・教科書、教具等の自主管理を目的した生徒一人に対し年間2ドルの「学校運営費用」をタットム、トロク、多摩川コールタメイ各小学校、キロタチュム小学校で継続した。
- ・啓明学園及び昭島ソロプチミストから、トロピアンプレイ中学校、多摩川コールタメイ小学校にバスケットゴールがそれぞれ一基ずつ寄贈された。
- ・Mother to Mother 活動の作業場が完成し、2015年8月落成式を挙行し、その後本格的な使用が始まった。
- ・ワットルン小学校校舎（7教室）の建て替え事業においては、2016年1月クラウドファンディングで目標額200万円を達成し、又ひろしま祈りの石国際教育交流財団より150万円の助成を頂くことが出来たため、不足分費用を補う事が出来2016年9月14日2月工事に着工した。完成は2016年8月。
- ・タットム、トロク、多摩川コールタメイ、キロタチュム小学校計25名の教員に、年額100～300ドルの教育支援金を支給した。
- ・サレイ先生による日本語教室を行っている（生徒及び教師対象）
- ・「Small Art School」の笠原先生による絵画指導を継続した。

(2) 就学困難家庭への支援事業

- ・タットム、トロク両小学校の新入生約90名に制服及び文具を支給した。
- ・タットム、トロク両小学校卒業生に「卒業アルバム」を寄贈した。
- ・2016年1月に東京昭島ロータリークラブから、タットム小学校、トロク小学校、多摩川コールタメイ小学校及びキロタチュム小学校に中古自転車計40台とピアノ計50台が寄贈された。

<Mother to Mother事業>

- ・カンボジア内においては、21名が活動に参加している（子どもの数は約60名）。作業所の管理・清掃・ミシン作業を担う2名母親を雇用（月30\$）し、ミシン作業にあたってもらう事により、日本国内でのミシン作業の軽減を図る事ができた。
- ・全支援校の新一年生に布製の通学リュック約400枚を支給することができた。この制作費用は、日本国内に設置して頂いている『寄付金付飲料自動販売機』からの寄付によって補う事ができた（約12万円）。
- ・日本国内においては、販売協力園は40園と昨年から大きな増減はないが、販売額を225万円から257万円に増やすことができた。この販売額の中で、カンボジアへのお母さんへの支払、日本国内のスタッフ1名雇用費用、布等の材料購入費、送料等を担う事が出来ている。また、あきる野市社会福祉協議会の協力を得て市内のデイサービスセンターの高齢者方に、紐通し等のボランティア活動に参加してもらう事になった。

3) 広報・啓発・調査事業

- ・2016年1月訪問時に行った自転車寄付時に集まった村人達や、Mother to Mother活動担当の母親達には、子どもに教育を受けさせる大切さを引き続き説いた
- ・訪問時には各学校において聞き取り調査を実施した。
- ・「カンボジア通信」vol.16.17の発行、ホームページの更新、近隣幼稚園、保育園、学校、イベント等を通して事業の支援を求めるPR活動を行った。
- ・ウェブサイトについてはカンボジア通信vol.16.17を掲載するにとどまった。
- ・27年8月3日～8日（啓明学園生徒12名を含む18名）、28年1月23日～28日（10名）の支援ツアーを実施した。
- ・ASAPの活動がプリントされた自動販売機が、新たに昭和飛行機の昭和の森テニス倶楽部（アサヒ飲料）細谷進理事所有地（KIRIN）に設置され計4台となった。ここから寄せられる寄付金はMother to Mother活動で作られ子ども達に配布する「通学リュック」の買い取り費用に充てる。（年14万円560枚相当の予測）

(4) 現地事務所運営事業

現地事務所は置かず、KHJ・タラさん・Small Art School（現地協力団体）のご協力及び、サレイ先生に作業所管理と日本との連絡役を担ってもらいおこなっている。（日本語指導を含めて月70ドル）。
 現地事務所を置かないことは不便もあるが、事務所費用、現地スタッフ雇用費用、人材確保等の問題を抱えなくて済む点が大きな利点となっている。（現地では詐欺事件などが沢山おきていますので）

2. 平成 27 年度 収支決算(概要) (平成 27 年 7 月 1 日から 28 年 6 月 30 日まで)

I 経常収入の部		III その他資金収入の部	
1 会費収入	912,000		
2 寄付金収入	5,560,852		
3 助成金（ひろしま祈りの石国際教育交流財団）	1,500,000		
クラウドファンディング	2,063,000		
4 売り上げ	2,573,062		
5 その他の収入(利息、為替差)	413		
経常収入計	12,609,327	その他資金収入計	0
II 経常支出の部		IV その他資金支出の部	
1 事業費			0
(1) 教育機関運営支援 ※(1)	6,345,651		
(2) 就学困難家庭支援(報酬・材料購入費等)	1,855,512		
(3) 広報・啓発・調査・連絡調整	105,609		
(4) 現地要員活動費	85,254		
2 管理費(通信運搬費・交通費・支払手数料・パート代等)※(2)	1,444,075		
経常支出計	9,836,101	その他資金支出計	0
経常収支差額	2,773,226	その他資金収支差額	0
※(1)ワットルン小学校校舎建築費用80%が含まれます		当期収支差額	2,773,226
※(2)クラウドファンディング手数料334,206円 為替差損97,690円が含まれます		前年繰り越し収支差額	5,203,777
		次期繰り越し収支差額	7,977,003

3. 平成 28 年度 事業計画(事業の実施方針)

I. 事業実施の方針

平成 28 年度は、カンボジア王国シェムリアップ州バンテアイ・スレイ郡のトロク小学校、タットム小学校、ワットルン小学校ならびに同州ソニコム郡コールタメイ村の多摩川コールタメイ小学校、トロピアンプレイ中学校、キロタチュム小学校、及び同地域の学齢児童・生徒の家庭に対して、就学率の更なる向上を目的とし、各種の支援を継続する。

(1) 教育機関の運営支援事業

- ・教科書、教具等の自主管理を目的とした生徒一人に対し年間 2 ドルの「学校運営費用」をタットム、トロク、多摩川コールタメイ、キロタチュムの各小学校において継続する。今年度完成のワットルン小学校への支援については訪問を継続し状況を見極めて支援内容を検討する。
- ・シェムリアップ州バンテアイ・スレイ郡ルムチェック村ワットルン小学校の校舎の落成式を 8 月 4 日に行う。
- ・支援当初に比べ教員数が倍増したタットム、トロク両小学校、多摩川コールタメイ小学校計 27 名の教員においては、国からの給料が月 180 ドルになったことを受け、年額 100～300 ドルの教育支援金支給を継続する。キロタチュム小学校、ワットルン小学校においては現状を見ながら決定する。
- ・トロピアンプレイ高校設立に向けての調査を実施する
- ・「Small Art School」の笠原先生による絵画指導を継続する。
- ・サレイ先生による日本語教室を継続する。

(2) 就学困難家庭への支援事業

- ・タットム、トロク両小学校の新入生へ文具の支給を継続する。制服は必要としている家庭数を調査して継続を決定する。コールタメイ、キロタチュムに関しても同様にする。
- ・タットム、トロク両小学校卒業生に「卒業アルバム」を寄贈する。
- ・「寄付金付き自動販売機」から ASAP に寄せられる寄付金は、Mother to Mother 活動で作られる「通学リュック」の買い取り費用に充てる。(年 14 万円 560 枚の予定) リュックは各支援校新一年生に配布し、残りは各支援校で他学年の家庭に販売を試みる (一枚 80 円位で)

(Mother to Mother 事業)

- ・**カンボジア内** より多くの母親への仕事供給を目指し、カンボジア国内向けの通学リュック制作事業の拡大を目指す。 * 日本国内で不要の布の募り、船便で輸送する
* 村内に学費に困窮する家庭へ広報を目的とした看板を設置する
- ・**日本国内** 昨年度と同程度の販売を目標にし、作業自体をより円滑に進められる体制を整える

(3) 広報・啓発・調査事業

- ・Mother to Mother 活動担当の母親達には、子どもに教育を受けさせる大切さを引き続き説く。
- ・「カンボジア通信」vol. 18, 19 の発行、ホームページの更新、近隣幼稚園、高校、大学への積極的な働きかけを通して事業の支援を求める PR 活動を行う。
- ・より情報を発信しやすいホームページ及びブログ、ネットショップの運営等に積極的に取り組む
- ・2016 年 8 月 1 日～6 日)、2017 年 1 月 (詳細な時期参加人数未定) の支援ツアーを実施する。
- ・寄付金付き自動販売機の増設を積極的に依頼する

(4) 現地事務所運営事業

- ・タラさん、サレイ先生との連絡を密にし、学校及び作業場の運営管理が順調に進むよう体制を整え、Small Art School スタッフのヒアさんにはコールタメイ地区のサポートを引き続き依頼する。

2. 平成 28 年度 収支予算(概要) (平成 28 年 7 月 1 日から 29 年 6 月 30 日まで)

I 経常収入の部		III その他の資金収入の部	
1 会費収入	900,000	短期借入金収入	0
2 寄付金収入	3,400,000		
3 助成金	0		
4 売り上げ	2,200,000		
5 その他の収入(利息、為替差)	1,500		
経常収入計	6,501,500	その他資金収入計	0
II 経常支出の部		IV その他資金支出の部	
1 事業費		短期借入金返済支出	0
(1)教育機関運営支援 ※	2,380,000		
(2)就学困難家庭支援	1,750,000		
(3)広報・啓発・調査・連絡調整	140,000		
(4)現地要員活動費	60,000		
2 管理費(通信運搬費・交通費・支払手数料・パート代等)	994,000		
経常支出計	5,324,000	その他資金支出計	0
経常収支差額	1,177,500	その他資金収支差額	0
		当期収支差額	1,177,500
※ワットルン小学校校舎費用20%を含む		前年繰り越し収支差額	7,977,003
		次期繰り越し収支差額	9,154,503

平成 27 年度ご寄付頂いた皆様(50 音順)。

* その他40近くの保育園、幼稚園に販売ご協力頂いています。

* クラウドファンディングへのご寄附の方は前号でご紹介させて頂きました

秋山映美	(株)ラッシュジャパン	菅野ミヨ子	土井智生	光の子保育園	みその幼稚園
池田政江	川邊悟子	杉浦比登美	東京昭島ロータリークラブ	土方崇	妙福寺戸田一誠
石田真市	北川綾子	住本典之	桃源堂	日野しらゆり幼稚園	向山良子
いずみの会	工藤泉	諏訪の森斉藤	同友会	平島正登	明星大学ツアー参加9名
磯崎千枝子	90会	関根真理	戸谷良子	平野異男	明照幼稚園
伊藤和美	啓明学園	染谷昌美	直井誠	平野隆生	(有)IQI
井上巖尹	大24回ツアー参加14名	高木景子	中野直明	FACTORY-B.COM釣り大会	安永邦子
上田恵子	国際ソロプチミスト昭島	高瀬千尋	西玲子	藤谷正一	谷津慶次
牛久保奈未	国際ソロプチミスト昭島有志	高橋俊夫	根本徳子	船津妙子	柳賢治
浦野エツ美	小島徳太郎	竹内希衣子	野本俊子	船津英夫	山崎芙蓉
欧87会	小寺拓夫	竹内たえ子	橋本直紀	古谷良治	山育会
大浦眞佐子	小林倭文子	田澤淳	長谷川安年	法理剛夫	吉田勝重
大貫政義	小山廣重	田辺崇	長谷川正	細谷進	吉田泰輔
大沼陽子	小山義治	田野倉陽子	長谷川照代	前田邦子	ラッシュ榎原店
大野隆司	斉藤君代	多摩川教育センター	長谷川義年・啓子	牧野幹司	若槻康二
岡部道明	酒井淑子	多摩川幼稚園募金	八王子白百合幼稚園	松倉 泉美	渡辺新太友人
桶橋敦子	坂本静枝	多摩川50周年寄付	瀧川喜亘	松田軽装工業	渡辺健児
(学)多摩川学園	桜庭玲子	多摩信用金庫	瀧川明子	(有)松村商店	渡辺政雄
かしの木幼稚園	清水和子	千葉辰男・妙子	原欣也	松村博文	
勝西光治	末宗千代子	中国研究会	半田たか子	三浦修子	

啓明生から Mother to Mother のお母さん達にこんな質問が

- 読み書きができなくて困ること ⇒ 子どもに教えてあげられない
- 計算ができなくてどうやってお買い物するのか ⇒ 10位は数えられるので、一つずつ数える。
- 子どもに望むのは ⇒ 自分のように苦しい生活をしてほしくない

平成 29 年 1 月訪問について

毎年 1 月に実施しています支援ツアーですが、29年 1 月は
高校建築について詳しい調査を行う為、募集を行いません。
29 年夏（8 月予定）にぜひご参加下さい！



ASAP の活動は皆様からのご支援で成り立っています 会員や支援者となって活動を支援して頂けませんか？

ご寄付頂く会費又は支援金は下記口座に振り込みをお願い致します。

- * 正会員… 年 20,000 円
- * 賛助会員… 毎月 1,000 円（年額 12,000 円）
- * その他支援金… 金額を問わず随時受け付けております

■ 郵便振替口座 00130-2-594647
『NPOアジアの子供たちの就学を支援する会』

■ 西武信用金庫 秋川支店 033
普通口座 1292601
口座名 『NPO 法人アジアの子どもたちの就学を支援する会
理事長 長谷川 安年（ハセガワ ヤストシ）』

ASAP カンボジア通信

ASAP 会報 Vol.18 2016.10

■ 発行 ※NPO 法人 アジアの子どもたちの就学を支援する会
(省略“ASAP” Asia School Attendance Partnership)

〒197-0825 東京都あきる野市雨間 429 番地
TEL 042-558-0218 (多摩川幼稚園内)
FAX 042-550-2467
メールアドレス asap@tamagawa-kids.jp
ホームページ <http://www.tamagawa-kids.jp/asap/>

■ 発行人 長谷川 安年